

ゴア®TAG® 胸部大動脈ブランチ型ステントグラフトシステム(TBE) 操作上のチェックポイント

操 作

---

1. CT 読影及び正確なサイジング
2. 適応に則った症例選択と、ケースプランニング（デバイスの組み合わせ）
3. アクセスルートの選択・必要に応じた事前処置（Conduit）
4. デバイス留置位置及びデバイスサイズ選択の為の造影
5. 20,22,24,26Fr シースの準備
6. シース挿入時の確認（ガイドワイヤーの挿入状態やマーカの位置確認）
7. 分枝血管へのアクセス
8. デバイスの準備（フラッシュ、メインワイヤー、サイドブランチワイヤー）
10. デバイスの挿入時の注意事項
11. 留置位置の確認（必要に応じた C-ARM の操作）・造影
12. 2本のワイヤーのねじれの確認、解除
13. メインデバイスのディプロイメント
14. カテーテルの除去
15. サイドブランチの挙上、位置調整
16. サイドブランチのディプロイメント
17. カテーテルの除去
18. 必要に応じて、追加デバイスの準備
19. デバイス留意位置及びオーバーラップ長さの確認
20. 必要に応じて、ゴアトリローバルーンの挿入及びタッチアップ（順序など及び 60°回転）
21. サイドブランチへのバルーンの挿入及びタッチアップ
22. バルーンの抜去、抵抗時の処理
23. 最終造影の実施
24. アクセスルートの造影、問題の有無の確認